



## 2021年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月11日

上場会社名 メドピア株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6095 URL <https://medpeer.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石見 陽  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO コーポレート本部長 (氏名) 平林 利夫 TEL 03-4405-4905  
 定時株主総会開催予定日 2021年12月16日 配当支払開始予定日 -  
 有価証券報告書提出予定日 2021年12月16日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年9月期の連結業績（2020年10月1日～2021年9月30日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期	7,435	40.0	1,783	61.5	1,812	60.3	1,293	78.2
2020年9月期	5,311	74.4	1,104	97.9	1,130	103.7	725	83.9

(注) 包括利益 2021年9月期 1,331百万円 (67.1%) 2020年9月期 796百万円 (86.1%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年9月期	60.07	56.25	21.5	23.1	24.0
2020年9月期	35.03	32.67	16.9	20.3	20.8

(参考) 持分法投資損益 2021年9月期 34百万円 2020年9月期 37百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月期	8,538	6,980	78.5	310.47
2020年9月期	7,127	5,582	75.0	248.80

(参考) 自己資本 2021年9月期 6,697百万円 2020年9月期 5,342百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年9月期	1,361	△345	△15	5,701
2020年9月期	930	△469	1,110	4,700

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2021年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2022年9月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-

### 3. 2022年9月期の連結業績予想（2021年10月1日～2022年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	-	2,500	-	2,520	-	1,770	-	82.05

(注) 2022年9月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
② ①以外の会計方針の変更：無  
③ 会計上の見積りの変更：無  
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数

2021年9月期	21,574,190株	2020年9月期	21,473,100株
2021年9月期	706株	2020年9月期	478株
2021年9月期	21,533,021株	2020年9月期	20,721,976株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年9月期の個別業績（2020年10月1日～2021年9月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期	4,417	38.6	1,355	66.0	1,285	59.7	1,070	85.0
2020年9月期	3,187	39.6	816	78.5	804	77.6	578	90.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期	49.70	46.54
2020年9月期	27.92	26.04

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月期	7,070	6,137	86.7	284.02
2020年9月期	6,006	5,004	83.1	232.58

(参考) 自己資本 2021年9月期 6,127百万円 2020年9月期 4,994百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	17
(重要な後発事象) .....	17

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当社グループが属する医療・健康産業においては、団塊の世代が全員75歳以上に達し医療・介護費の急増が懸念される、いわゆる2025年問題、さらに、団塊ジュニア世代が全員65歳以上に達することで高齢者数がピークを迎え、医療・介護費の負担の増加が拡大する2040年問題を抱えています。かかる展望を踏まえ、日本政府は健康寿命の延伸や社会保障制度の持続可能性の確保という問題に対して国を挙げて取り組むべく、健康・医療・介護分野においてICTを積極的に活用した仕組みを構築し、データヘルス改革を推進していく方針を示しております。また、超高齢社会を迎えるにあたり、国民一人一人が切れ目のない医療及び介護サービスを受けることができる環境整備が喫緊の課題であるとして、地域医療構想のPDCAサイクルを強化し、地域における医療・介護の総合的な確保を推進していくこととしております。

また、製薬企業は医療従事者に向けた営業活動の生産性向上を企図し、情報提供・収集活動の一環としてウェブサイトやアプリ、ソーシャルネットワークなど、デジタルツールを活用した取り組みをより一層強化しております。これにより、製薬企業にとってのeマーケティングは、かつての医薬情報担当者（MR）の「補充」としての位置づけから「主軸」としての活用を期待されるポジションへと変化しております。さらに、現在の新型コロナウイルス感染症の世界的な流行を受け、これらのオンライン化の流れはさらに加速しており、MRと医師がオンラインで直接対話するなどの新しいコミュニケーションスタイルが確立しつつあります。

このような環境の中、当社グループは、ミッションである「Supporting Doctors, Helping Patients. (医師を支援すること。そして患者を救うこと。)」を実現すべく、医師専用コミュニティサイト「MedPeer」を基盤として医師や医療現場を支援するサービスを展開するドクタープラットフォーム事業と、健康増進・予防などのコンシューマー向けヘルスケア支援を展開するヘルスケアソリューション事業に取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高7,435,418千円（前年同期比40.0%増）、営業利益1,783,907千円（同61.5%増）、経常利益1,812,008千円（同60.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益1,293,475千円（同78.2%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

#### ① ドクタープラットフォーム事業

ドクタープラットフォーム事業では、医師や医療現場を支援するため、「MedPeer」の14万人の医師会員を基盤とした集合知プラットフォームと、医療機関と患者様をつなげるプライマリケアプラットフォームを展開しております。

当連結会計年度において、集合知プラットフォームでは、国内医師の約4割が利用する「MedPeer」上のコンテンツを充実させることにより、医師会員の活性度を向上する施策を展開してまいりました。また、2021年8月には、株式会社みんコレより、医学生学習支援プラットフォーム「みんコレ！」事業を譲り受けるなど、更なる医師会員基盤の拡大に取り組んでまいりました。

また、新型コロナウイルス感染症を契機とした製薬企業のマーケティング活動の変化に対応し、「薬剤評価掲示板」や「Web講演会」などの既存サービスの拡販を推進してまいりました。加えて、医師とMRのダイレクトコミュニケーションツール「MedPeer Talk」や、株式会社PKSHA Technologyと共同で設立したメドクロス株式会社を起点としたアルゴリズムソリューションの拡販など、製薬業界における更なるデジタルトランスフォーメーションを牽引する施策を展開してまいりました。

プライマリケアプラットフォームにおいては、薬局向けアプリサービス「kakari」と、クリニック向けアプリサービス「kakari for Clinic」との間で、「処方せん画像共有機能」や「アプリ連携」などの医療連携機能の提供を開始し、診療から服薬指導・服薬後フォローまでを一気通貫でサポートするプラットフォームとしての体制構築を推進してまいりました。特に、「kakari」においては、主要KPIであるアプリダウンロード数や処方せん送信数が大幅に増加し、患者さんに「選ばれる」サービスとして「かかりつけ薬局化」を支援してまいりました。

これらの結果、売上高は5,777,739千円（同46.7%増）、セグメント利益は1,968,422千円（同48.2%増）となりました。

#### ② ヘルスケアソリューション事業

ヘルスケアソリューション事業では、健康増進・予防などのコンシューマー向けヘルスケア支援を展開しております。

当連結会計年度において、子会社の株式会社Mediplatでは、運営するクラウド型健康管理サービス「first call」において、従業員の健康診断の結果をオンラインで管理することができる「健診管理サービス」の提供を開始するなど、従業員の日常的な健康管理からメンタルヘルス対策までをワンストップでサポートするサービスを拡充してまいりました。また、ライフログプラットフォーム事業において、新たに味の素株式会社と共同で生活改善をサポートするスマートフォンアプリ「aminoステップ」を開始するなど、更なる事業拡大を推進してまいりました。

た。また、子会社の株式会社フィットプラスが展開する特定保健指導事業においては、オンラインでの指導体制の充実などが評価され、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大傾向にある中にもかかわらず過去最高の実施件数を記録いたしました。

これらの結果、売上高は1,665,099千円（同21.4%増）、セグメント利益は289,412千円（同6.4%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,410,928千円増加し、8,538,329千円となりました。これは現金及び預金998,336千円の増加、仕掛品89,665千円の増加及び敷金77,489千円の増加を主要因とするものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて12,219千円増加し、1,557,551千円となりました。これはポイント引当金46,616千円の増加、買掛金36,578千円の増加及び賞与引当金59,745千円の減少を主要因とするものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,398,708千円増加し、6,980,777千円となりました。これは新株予約権の行使による資本金及び資本剰余金の増加48,473千円、親会社株主に帰属する当期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加1,293,475千円を主要因とするものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ1,000,636千円増加し、5,701,332千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動により獲得した資金は、1,361,468千円となりました。この主な要因は、税金等調整前当期純利益1,812,012千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動により使用した資金は、345,389千円となりました。この主な要因は、敷金の差入による支出136,330千円、無形固定資産の取得による支出135,678千円、有形固定資産の取得による支出112,318千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動により使用した資金は、15,442千円となりました。この主な要因は、長期借入金の返済による支出66,579千円と、株式の発行による収入48,057千円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年9月期	2021年9月期
自己資本比率	75.0%	78.5%
時価ベースの自己資本比率	1470.2%	970.24%
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	0.2年	0.1年
インタレスト・カバレッジ・レシオ	515.3倍	787.9倍

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注2) 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

(注3) 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

当社グループは、「Supporting Doctors, Helping Patients. (医師を支援すること。そして患者を救うこと。)」をミッションとして、集合知により医療を再発明することを目指しております。

次期につきましては、以下の方針に基づき事業を運営してまいります。

①ドクタープラットフォーム事業

医師にとってより魅力度の高いコンテンツを充実させることに加え、「みんなコレ！」事業を発展させることにより若手医師の獲得・利用拡大を図るとともに、医師会員の会員基盤を拡大し「MedPeer」サイト内での広告価値を高めてまいります。また、製薬企業のマーケティング活動の変化に対応し、「医薬品マーケティングのインフラに進化」という方針のもと、「MedPeer Talk」などMRの生産性向上を実現するサービスを強化するとともに、医師一人ひとりのニーズや特性に応じた、新しいマーケティングスタイルの確立を製薬企業とともに推進することで、収益拡大を図ってまいります。さらに、薬局向けアプリサービス「kakari」及びクリニック向けアプリサービス「kakari for Clinic」の拡販を、パートナーシップなどを通じて推進し、新たな収益の柱の確立を目指します。

②ヘルスケアソリューション事業

企業の産業保健業務をワンストップで支援するサービス「first call」の法人利用企業の更なる拡大を図ってまいります。また、ライフログプラットフォームを本格展開し、新たなパートナー企業の開拓とサービス展開を推進し会員基盤を構築するとともに、集積したデータを活用した事業の立ち上げを図ってまいります。さらに、特定保健指導サービスにおいては、新規営業・既存顧客向け営業の両面を強化し、更なる事業の拡大を図ってまいります。

これらのことにより、次期の業績見通しにつきましては、売上高10,500百万円、営業利益2,500百万円、経常利益2,520百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,770百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当連結会計年度 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,702,996	5,701,332
受取手形及び売掛金	1,290,266	1,302,315
商品	156	—
仕掛品	34,451	124,116
その他	74,954	114,879
流動資産合計	6,102,825	7,242,643
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	43,382	116,395
工具、器具及び備品（純額）	51,942	73,892
その他	8,742	6,410
有形固定資産合計	104,067	196,699
無形固定資産		
のれん	154,339	119,691
ソフトウェア	159,201	222,508
ソフトウェア仮勘定	20,199	34,918
顧客関連資産	115,646	103,143
無形固定資産合計	449,386	480,262
投資その他の資産		
関係会社株式	54,544	88,768
投資有価証券	137,009	136,331
敷金	156,258	233,748
繰延税金資産	109,197	143,828
その他	14,111	16,047
投資その他の資産合計	471,121	618,723
固定資産合計	1,024,575	1,295,685
資産合計	7,127,400	8,538,329

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当連結会計年度 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	50,616	87,195
未払金	266,785	266,222
1年内返済予定の長期借入金	68,620	56,136
未払法人税等	335,730	366,549
賞与引当金	147,293	87,547
役員賞与引当金	3,965	7,221
ポイント引当金	95,165	141,781
その他	338,108	323,912
流動負債合計	1,306,285	1,336,565
固定負債		
長期借入金	134,279	80,184
資産除去債務	34,233	78,815
繰延税金負債	64,184	57,219
その他	6,350	4,766
固定負債合計	239,046	220,986
負債合計	1,545,332	1,557,551
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,996,939	2,028,537
資本剰余金	2,213,986	2,245,584
利益剰余金	1,137,934	2,431,410
自己株式	△448	△576
株主資本合計	5,348,411	6,704,955
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,960	△7,036
その他の包括利益累計額合計	△5,960	△7,036
新株予約権	10,054	9,634
非支配株主持分	229,564	273,223
純資産合計	5,582,068	6,980,777
負債純資産合計	7,127,400	8,538,329

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
売上高	5,311,071	7,435,418
売上原価	1,804,858	2,580,777
売上総利益	3,506,212	4,854,641
販売費及び一般管理費	2,401,297	3,070,733
営業利益	1,104,914	1,783,907
営業外収益		
投資有価証券売却益	132	—
受取利息	201	243
持分法による投資利益	37,218	34,223
補助金収入	12,070	3,705
その他	937	1,619
営業外収益合計	50,558	39,791
営業外費用		
支払利息	1,828	1,895
市場変更費用	22,380	—
本社移転費用	—	8,748
その他	616	1,047
営業外費用合計	24,825	11,691
経常利益	1,130,647	1,812,008
特別利益		
新株予約権戻入益	20	4
特別利益合計	20	4
税金等調整前当期純利益	1,130,667	1,812,012
法人税、住民税及び事業税	365,736	520,803
法人税等調整額	△37,776	△41,026
法人税等合計	327,960	479,776
当期純利益	802,707	1,332,235
非支配株主に帰属する当期純利益	76,737	38,759
親会社株主に帰属する当期純利益	725,970	1,293,475

## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
当期純利益	802,707	1,332,235
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,960	△1,075
その他の包括利益合計	△5,960	△1,075
包括利益	796,746	1,331,159
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	720,009	1,292,400
非支配株主に係る包括利益	76,737	38,759

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,306,734	1,523,780	411,964	△448	3,242,029
当期変動額					
新株の発行	3,609	3,609			7,218
新株の発行(新株予約権の行使)	686,596	686,596			1,373,193
親会社株主に帰属する当期純利益			725,970		725,970
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	690,205	690,205	725,970	—	2,106,381
当期末残高	1,996,939	2,213,986	1,137,934	△448	5,348,411

(単位:千円)

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	—	—	19,469	152,826	3,414,326
当期変動額					
新株の発行					7,218
新株の発行(新株予約権の行使)					1,373,193
親会社株主に帰属する当期純利益					725,970
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△5,960	△5,960	△9,415	76,737	61,360
当期変動額合計	△5,960	△5,960	△9,415	76,737	2,167,742
当期末残高	△5,960	△5,960	10,054	229,564	5,582,068

当連結会計年度(自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,996,939	2,213,986	1,137,934	△448	5,348,411
当期変動額					
新株の発行	7,361	7,361			14,723
新株の発行(新株予約権の行使)	24,236	24,236			48,473
親会社株主に帰属する当期純利益			1,293,475		1,293,475
自己株式の取得				△127	△127
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	31,598	31,598	1,293,475	△127	1,356,544
当期末残高	2,028,537	2,245,584	2,431,410	△576	6,704,955

(単位:千円)

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△5,960	△5,960	10,054	229,564	5,582,068
当期変動額					
新株の発行					14,723
新株の発行(新株予約権の行使)					48,473
親会社株主に帰属する当期純利益					1,293,475
自己株式の取得					△127
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,075	△1,075	△419	43,659	42,164
当期変動額合計	△1,075	△1,075	△419	43,659	1,398,708
当期末残高	△7,036	△7,036	9,634	273,223	6,980,777

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,130,667	1,812,012
減価償却費	99,229	131,986
のれん償却額	41,403	37,213
投資有価証券売却損益(△は益)	△132	—
受取利息及び受取配当金	△892	△1,383
支払利息	1,828	1,895
持分法による投資損益(△は益)	△37,218	△34,223
売上債権の増減額(△は増加)	△577,049	△12,048
棚卸資産の増減額(△は増加)	△419	△89,508
仕入債務の増減額(△は減少)	△84,314	36,578
賞与引当金の増減額(△は減少)	94,665	△59,745
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	3,965	3,255
未払金の増減額(△は減少)	132,327	1,103
未払消費税等の増減額(△は減少)	132,674	△21,992
ポイント引当金の増減額(△は減少)	28,013	46,616
その他	88,276	△8,462
小計	1,053,024	1,843,296
利息及び配当金の受取額	419	1,383
利息の支払額	△1,805	△1,727
法人税等の支払額	△121,341	△481,483
営業活動によるキャッシュ・フロー	930,297	1,361,468
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△52,152	△112,318
無形固定資産の取得による支出	△119,279	△135,678
資産除去債務の履行による支出	△1,240	—
投資有価証券の売却による収入	10,730	—
敷金の差入による支出	△13,278	△136,330
敷金の回収による収入	3,108	58,841
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△294,360	—
事業譲受による支出	—	△24,000
その他	△2,752	4,096
投資活動によるキャッシュ・フロー	△469,225	△345,389
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	△81,030	—
長期借入金の返済による支出	△171,699	△66,579
株式の発行による収入	1,363,798	48,057
非支配株主からの払込みによる収入	—	4,900
自己株式の取得による支出	—	△127
その他	△557	△1,692
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,110,511	△15,442
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,571,583	1,000,636
現金及び現金同等物の期首残高	3,129,112	4,700,696
現金及び現金同等物の期末残高	4,700,696	5,701,332

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、当社及び当社の連結子会社が各々独立した経営単位として、取り扱うサービスについて主体的に包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社グループは、当社及び子会社を基礎としたサービス別のセグメントから構成されており、「ドクタープラットフォーム事業」、「ヘルスケアソリューション事業」の二つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「ドクタープラットフォーム事業」は、MedPeerのドクタープラットフォームを基盤として医師や医療現場を支援するサービスを展開しております。

「ヘルスケアソリューション事業」は、健康増進・予防などのコンシューマー向けヘルスケア支援を展開しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、2021年9月30日で終了した連結会計年度にかかる連結財務諸表作成において採用している当社グループの会計方針と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益および振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額
	ドクター プラットフォーム 事業	ヘルスケア ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,939,469	1,371,601	5,311,071	—	5,311,071
セグメント間の内部売上高 又は振替高	96	372	468	△468	—
計	3,939,565	1,371,973	5,311,539	△468	5,311,071
セグメント利益	1,328,018	272,086	1,600,104	△495,189	1,104,914
セグメント資産	1,409,034	441,693	1,850,728	5,276,672	7,127,400
その他の項目					
減価償却費	44,329	5,476	49,805	49,423	99,229
のれん償却額	41,403	—	41,403	—	41,403
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	321,816	46,759	368,575	79,149	447,725
のれんの未償却残高	154,339	—	154,339	—	154,339

注1 調整額は以下の通りであります。

- (1) セグメント利益の調整額△495,189千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△504,249千円及びセグメント間取引9,060千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額5,276,672千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金、繰延税金資産であります。
- (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額79,149千円は、主に本社における設備等への投資額であります。

注2 セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額
	ドクター プラットフォーム 事業	ヘルスケア ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,770,807	1,664,610	7,435,418	—	7,435,418
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,931	489	7,421	△7,421	—
計	5,777,739	1,665,099	7,442,839	△7,421	7,435,418
セグメント利益	1,968,422	289,412	2,257,835	△473,927	1,783,907
セグメント資産	1,660,549	372,762	2,033,312	6,505,016	8,538,329
その他の項目					
減価償却費	52,943	18,858	71,802	60,184	131,986
のれん償却額	37,213	—	37,213	—	37,213
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	61,112	77,723	138,836	107,493	246,329
のれんの未償却残高	119,691	—	119,691	—	119,691

注1 調整額は以下の通りであります。

- (1) セグメント利益の調整額△473,927千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△482,987千円及びセグメント間取引9,060千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額6,505,016千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金、繰延税金資産であります。
- (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額107,493千円は、主に本社における設備等への投資額であります。

注2 セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

**【関連情報】**

前連結会計年度（自 2019年10月1日 至 2020年9月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載しておりません。

当連結会計年度（自 2020年10月1日 至 2021年9月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載しておりません。

**【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】**

該当事項はありません。

**【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】**

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

**【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】**

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
1株当たり純資産額	248.80円	310.47円
1株当たり当期純利益	35.03円	60.07円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	32.67円	56.25円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	725,970	1,293,475
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	725,970	1,293,475
普通株式の期中平均株式数(株)	20,721,976	21,533,021
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	1,498,801	1,463,431
(うち新株予約権)(株)	1,498,801	1,463,431
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	第12回新株予約権 (潜在株式数196,000株)	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。